



# Gen とるくん™ エタ沈キャリア

Code No. 9094      容量：      800  $\mu$ l  
(約 200 回)

添付試薬：  
3 M Sodium Acetate (pH5.2)      1 ml  $\times$  2

## ● 製品説明

本製品は DNA、RNA などの核酸のエタノール沈殿用に調製された共沈剤である。共沈剤として一般的に用いられるグリコーゲンに比べて低濃度の核酸溶液からの回収率が高く、5 pg/ $\mu$ l の核酸溶液から核酸を回収することができる。

また、エタノール沈殿を行う際に低温で保持する必要がなく、エタノール添加後すぐに遠心操作を行うことができる。

本製品を添加してエタノール沈殿を行うと白色の沈殿が生じ、容易に目で確認することが可能である。微量のサンプルでも目に見えるので、沈殿の洗浄操作も安心して行うことができ、操作中にサンプルを損失することがない。さらに、各種制限酵素反応を阻害しないため、回収後の核酸はそのまま、PCR、制限酵素消化、逆転写反応、ライゲーション、形質転換、蛍光シーケンシングなど、様々なアプリケーションに用いることができる。

● 保存      室温

● 純度  
DNase free、RNase free であることを確認している。

● 用途  
核酸 (RNA、DNA) のエタノール沈殿の際に、キャリアーとして用いる。

- 使用方法
1. 核酸 (DNA または RNA) 溶液\*1 に 1/10 量の 3 M Sodium Acetate (pH5.2) を加え混合する。
  2. 4  $\mu$ l の Dr. GenTLE Precipitation Carrier を加え混合する\*2。
  3. 2.5 倍量のエタノールを加え十分混合する。
  4. 12,000 rpm、4°C で 15 分間遠心する。
  5. 白色の沈殿を残して、上清を除く。
  6. 70% エタノールを加える。
  7. 12,000 rpm、4°C で 5 分間遠心する。
  8. 白色の沈殿を残して上清を除き、乾燥する。
  9. 適量の滅菌精製水または TE バッファーに溶解する。

\* 1 : 核酸溶液の濃度が 5 pg/ $\mu$ l から 100 ng/ $\mu$ l の範囲で使用可能。  
\* 2 : 核酸溶液が 400  $\mu$ l 以下の場合には Dr. GenTLE Precipitation Carrier を 4  $\mu$ l 使用する。400  $\mu$ l 以上の場合には核酸溶液 100  $\mu$ l に対して 1  $\mu$ l 使用する。

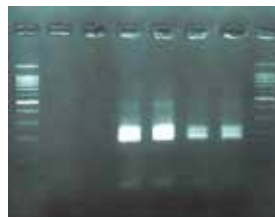
## ● 使用上の注意

1. Dr. GenTLE Precipitation Carrier を加えた後は低温で冷却する必要はありません。低温に放置すると回収率が落ちる場合がありますので、添加後はすぐに遠心してください。
2. 同じ溶液について再度エタノール沈殿を行う際には、さらに Dr. GenTLE Precipitation Carrier を加えることは避けてください。沈殿溶解時溶液の粘度が増して、溶解が困難になる場合があります。
3. 核酸の濃度が十分高いと予想される場合 (0.3  $\mu$ g/ $\mu$ l 以上)、本製品の使用はお勧めできません。かえって収量が低下することがあります。
4. 核酸濃度 10 pg/ $\mu$ l 以下の場合には、回収率が低下することがあります。
5. イソプロパノール沈殿にも使用できますが、エタノール沈殿に使用する場合に比べて沈殿がやや透明で、確認には注意が必要です。

## ● 使用例

プロトコルに従い、241 base の RNA 断片 200 ng を含む溶液 400  $\mu$ l (500 pg/ $\mu$ l) のエタノール沈殿を行った。

M N N T T G G M



Lane :  
N : キャリアーなし  
T : 本製品使用  
G : Glycogen 使用  
M : 100 bp DNA Ladder

3% Agarose

Gen とるくんはタカラバイオ株式会社の商標です。

## ● 注意

本製品は研究用として販売しております。ヒト、動物への医療、臨床診断用には使用しないようご注意ください。また、食品、化粧品、家庭用品等として使用しないでください。タカラバイオの承認を得ずに製品の再販・譲渡、再販・譲渡のための改変、商用製品の製造に使用することは禁止されています。ライセンスに関する情報は弊社ウェブカタログをご覧ください。本データシートに記載されている会社名および商品名などは、各社の商号、または登録済みもしくは未登録の商標であり、これらは各所有者に帰属します。